

2018年12月11日

電通とエジェ社、簡便で安価に導入できる 3D バーチャルキャラクターの 接客 VTuber サービス「Chara Talker」を共同開発

— 第1弾は12/12～24 伊勢丹新宿店・本館催事場でお披露目 —

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）と株式会社エジェ（本社：東京都港区、社長：三代 千晶、以下「エジェ社」）は、簡便で安価に導入できる 3D バーチャルキャラクターでの接客 VTuber サービス「Chara Talker（キャラトーカー）」（<http://charatalker.info>）を共同で開発しました。

昨今、3D バーチャルキャラクターは、動画配信サービスに出演・活躍する創作キャラクター、通称「VTuber」として広く一般的に定着しており、企業や自治体の宣伝マスコットとして起用されるなど、リアルなコミュニケーションの場でも起用されています。また、ウェブ上だけでなくテレビ番組にもタレント出演するなど新たな広がりを見せています。

企業や自治体の VTuber 起用の背景には、プロモーションに合わせたキャラクター造形が可能であることや、キャストのスクランダルリスクの低さなどが挙げられます。しかし一方では、キャラクターのモデルが人型であることが多く高い模写性が求められるため、結果として、身体の動きをトラッキングする高精度なセンサーデバイスや高価な機材が必要になり、その運用にも専門スタッフが必要なほど技術的な煩雑さが伴うという課題が顕在化してきています。

キャラトーカーは、当社が持つ企画プロデュース力とコンテンツクリエイティビティー、エジェ社が持つスマホ向けの 3D キャラクター制作やアプリ制作の高度な技術知見を掛け合わせることで、誰でも自然で豊かな表情・ジェスチャーを表現できるハイクオリティーな接客キャラクターのデザインを実現しました。

また、来店客との会話に特化していること、顔の表情に重点を置いていること、スマホからキャラクターを操作できるという特徴があり、必要最低限の機材・スタッフ数で、簡便・安価に導入可能です。店内のデジタルサイネージ、イベント、売り場、受付など、あらゆる企業コミュニケーションの場に展開できます。

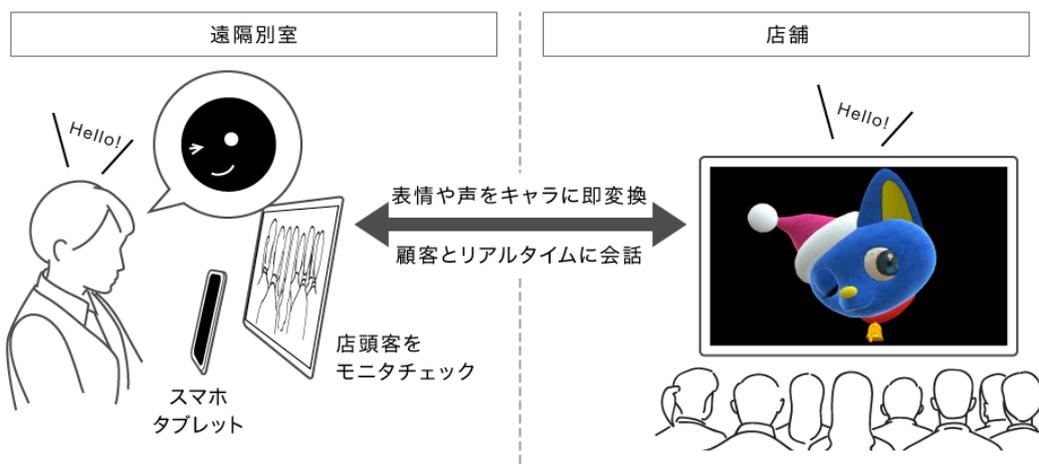
なお、本サービスの第1弾として、12月12日～24日、伊勢丹新宿店・本館6階催事場で開催される「2018 ISETAN CHRISTMAS LAND」で、小猫のキャラクター「なてし」（著作：電通およびエジェ社）によるイベントを実施します。

<キャラクター例：猫モデル「なてし」>



今後も当社は、キャラクターの権利ホルダー、芸能・声優事務所等の協力のもと、「自社キャラクター開発」「迅速な導入」「低コスト運用」といった幅広い要望に対応するために、キャラクターのバリエーションと配信システムなど、サービスのパッケージラインアップを揃え、2019年度上期を目途にサービスを本格化させる予定です。

<サービス構成概要（売場展開イメージ）>



<サービスロゴ>

キャラクターカー

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
 湊、竹村 TEL : 03-6216-8041

【サービスに関する問い合わせ先】

株式会社電通 ビジネス・ディベロップメント&アクティベーション局
 足立、荒木 Email : dentsuvrplus@dentsu.co.jp